I·O DATA

CDRW-AB シリーズ

CD-RW セットアップガイド

116105-02

本製品をセットアップし、音楽CDを作るまでの作業を説明しています。
手順にしたがって作業を行ってください。

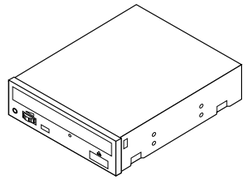
本製品のその他の基本操作、Q&Aなどについては、添付CD-ROM内のユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。

ユーザーズガイドの起動方法
①添付CD-ROMをドライブに挿入します。
②メニューから[I-O DATA オンラインユーザーズガイド]ボタンをクリックします。
※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/support/）にてQ&Aを用意しております。本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。

※図は実際とは多少異なる場合があります。

1 内容物を確認する

- ☐ CD-RWドライブ（1台）



- ☐ オリジナルCD作成キット（CD-ROM：1枚）

- ☐ 取り付けネジ（4本）
- ☐ IO DATA ロゴシール（1枚）
  （ドライブのトレイ前面にお貼りください）
- ☐ はじめにお読みください（1枚）
- ☑ CD-RWセットアップガイド（本書）
- ☐ ハードウェア保証書（1枚）

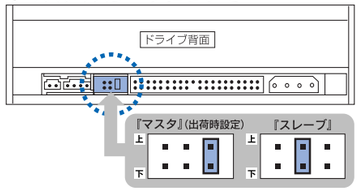
2 スイッチを設定する

本製品を取り付ける前にスイッチを設定する必要があります。ここでは、お使いの環境に合わせてスイッチを設定します。

本製品を『マスタ』（出荷時設定）または『スレーブ』のどちらかに設定します。

『マスタ』『スレーブ』以外の位置にピンをささないでください。

●マスタ、スレーブについて



注意 PC98-NXシリーズをご使用の場合のご注意

セカンダリスレーブに接続するとパソコンが正常に起動しない場合がありますので、本製品をプライマリスレーブまたはセカンダリマスタで使用してください。

IDEの基礎知識

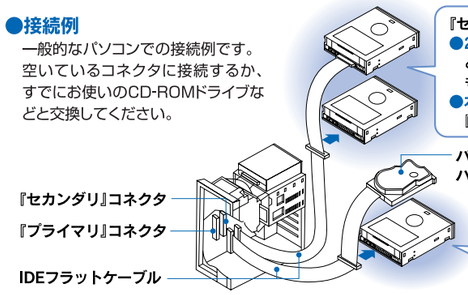
本製品を取り付ける場所を決めてから、左記の通り設定してください。

●本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。
“パソコンに接続できるIDE機器は最大4台まで”

■パソコン本体には、以下の2つのコネクタがあります。
『プライマリ』（PRIMARY） ➡ IDE1の場合があります。
『セカンダリ』（SECONDARY） ➡ IDE2の場合があります。

■『プライマリ』『セカンダリ』のそれぞれに、IDEフラットケーブル（次ページ参照）を使用して、以下の２台ずつ、計４台までのIDE機器を接続することができます。
『マスタ』（MASTER）／『スレーブ』（SLAVE）

●接続例
一般的なパソコンでの接続例です。
空いているコネクタに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。



3 取り付ける

❶パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

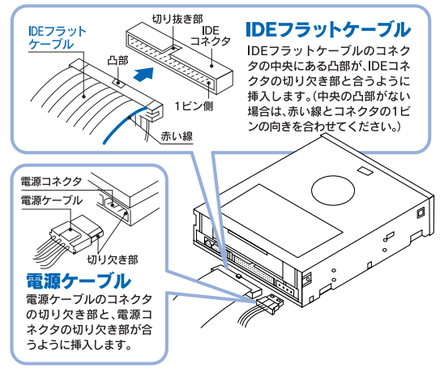
❷パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、5インチベイのカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

❸各ケーブルを接続します。

❶IDEフラットケーブル
パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクタに接続します。
プライマリ（1系列目）またはセカンダリ（2系列目）を充分確認し、接続してください。

❷電源ケーブル
パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。

注意 ケーブルを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。
逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクタを破損する恐れがあります。コネクタを抜き差しする場合は、ピンが折れないようにコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。



❹添付の取り付けネジで本製品をとめます。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

❺パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺機器を元に戻します。

4 確認する

●本製品が正常に使えるかを確認します。

パソコンを起動して、[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、CD-RWドライブを使うことができます。

追加されたアイコン
▼Windows XPの場合
▼Windows XP以外の場合

こんな時には…

パソコンが起動しない場合
本製品の「マスタ」「スレーブ」設定をご確認ください。

アイコンが追加されていない場合
●[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。
（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）

5 B's Recorder GOLD5 BASIC + B's CLiP5をインストールする

※本製品に添付の「B's Recorder GOLD5」は、「B's Recorder GOLD5 BASIC」ですが、これ以降は「B's Recorder GOLD5」と記述します。

❶他のライティングソフトがインストールされている場合は、削除してください。また、CD-ROMドライブを高速化するソフトウェアがインストールされている場合も削除してください。

❷「オリジナルCD作成キット」CD-ROMをセットします。

❸自動でメニューが表示されます。自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun.exe」を起動してください。

❹あとは、画面の指示にしたがってインストールしてください。
※インストール中、下記のシリアルナンバーが自動的に入力されます。

●GOLD5 BASIC：
●CLiP5　　：

注意 B's Recorder GOLD5 + B's CLiP5を使用する際のご注意

使用方法の詳細についてはオンラインマニュアルをご覧ください。各ソフトウェアをインストール後、[スタート]メニューの[B.H.A]内に登録されます。

●省電力機能を無効（オフ）にしてください。無効（オフ）にしないでCD-R/RWへの書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。

●マルチセッション（MULTISESSION：セッション単位でデータを追記することです。）記録したCD-R/RWディスクの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD5」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される“使用領域”では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。

●一度でも書き込みに失敗したCD-Rディスクは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したCD-RWディスクは「B's Recorder GOLD5」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。

●いったん、「B's Recorder GOLD5」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWディスクに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD5」と本製品を使用してください。また、いったん「B's CLiP5」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWディスクに追記する場合は、必ず「B's CLiP5」と本製品を使用してください。
（一度、B's CLiP5で使用したCD-RWディスクをB's Recorder GOLD5で書き込む場合は、標準消去で完全に消去してください。）

●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、CD-Rディスクへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。

●「SMART-BURN」「Seamless Link」「JustLink」「BURN-Proof」などのエラー回避機能のチェックを外さないでください。（ドライブによって機能の名称が異なります。）

《B's Recorder GOLD5の場合》
「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」※で、“転送速度エラー回避機能”をONにしてください。
※エラー回避機能が常時ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」ボタンは表示されません。

●CD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意
B's Recorder GOLD5が対応していないCD-ROM※の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
※㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。

●音楽データを書き込んだCD-R/RWディスクを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWディスクに対応している必要があります。

●[HDDバックアップ機能について]
バックアップしたディスクを使用してHDDを元に戻すときは、本製品以外のMS-DOSで認識可能なCD-ROMドライブが必要です。

裏へ続く

6 音楽CDを作る

STEP 1 WAVEファイルを作る

オリジナル音楽CDを作るには、まず、CD-Rに書き込む音楽データ（WAVE）を作ります。B's Recorder GOLD5には、音楽CDのデータをWAVEファイルに変換する機能がついています。ここでは、音楽CDからWAVEファイルを作成します。

※以下に記載する作成方法は例です。B's Recorder GOLD5の詳細な使用方法はオンラインマニュアルをご覧ください。

❶本製品に音楽CDをセットします。

❷B's Recorder GOLD5を起動します。

アイコン をダブルクリックします。

または、[スタート]➡[プログラム（すべてのプログラム）]➡[B.H.A]➡[B's Recorder GOLD5]➡[B's Recorder GOLD5]の順にクリックします。

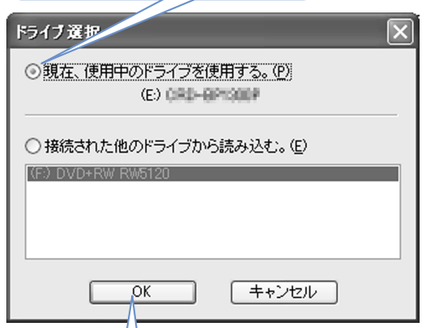
❸[リッピング]ボタンをクリックします。

この画面が表示されない場合は、メニューから[メディア]➡[リッピング]を順にクリックしてください。

❹「CDの使用許諾条件について」画面が表示されたら、画面の指示にしたがってください。

❺「ドライブ選択」画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

❶「現在、使用中のドライブを使用する。」が選択されていることを確認します。



❷[OK]ボタンをクリックします。

❻「リッピング」画面でWAVEファイルに変換する曲を選択し、[開始]ボタンをクリックします。

❶WAVEファイルに変換する曲にチェックをつけます。
Shift キーを押しながらクリックすると、連続している複数の曲が選択できます。
Ctrl キーを押しながらクリックすると、複数の曲を選択できます。

❷曲の選択が終わったら、[開始]ボタンをクリックします。

❼変換するWAVEファイルの名前を入力します。

❶保存する場所を指定します。

❷名前を入力します。

画面の場合は、[My Music]フォルダに保存されます。

複数曲選択した場合は、ファイル名の後に001から順に番号が付きます。

❸[保存]ボタンをクリックします。

WAVEファイルへの変換が始まります。

❽変換が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

「進捗状態」に「正常に終了しました。」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。その後、「トラックのキャプチャー」画面に戻りますので[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

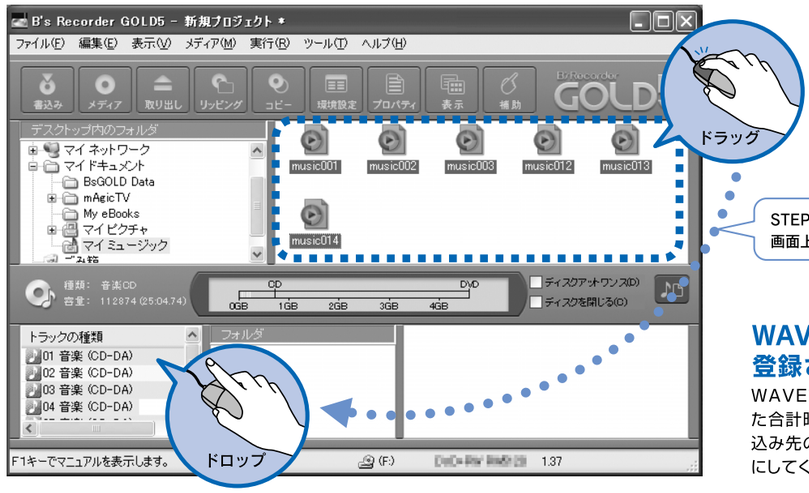
これでWAVEファイルができました。
WAVEファイルを保存した場所をおぼえておいてください。

STEP 2 書き込む

STEP1で作成したWAVEファイルを使用して、オリジナル音楽CDを作りましょう。

❶本製品に未使用のCD-Rをセットします。補助画面が表示されている場合は、閉じます。

❷書き込むWAVEファイルを登録します。



ドラッグ&ドロップとは?
マウス左ボタンを押したまま移動させ、離すことです。

STEP1で作成したWAVEファイルを画面上にドラッグ＆ドロップします。

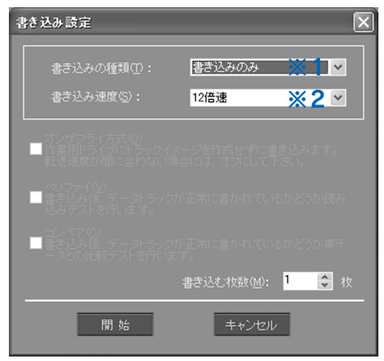
WAVEファイルが登録されます。

WAVEファイルを登録すると、登録した合計時間が表示されますので、書き込み先のCD-Rの容量を越えないようにしてください。

❸「ディスクアットワンス」にチェックをつけます。

❹いよいよ、書き込みます。

ボタンをクリックすると、[書き込み設定]画面が表示されます。「書き込みの種類」と「書き込み速度」を設定して、[開始]ボタンをクリックしてください。



※1 SMART-BURN機能やSeamless Link機能やBURN-Proof機能やJustLink機能などを搭載している場合は、"テストのみ"、"テスト後の書き込み"に設定しないでください。

※2 CD-RWの最大書き込み速度の約半分の速度を推奨します。

❺書き込みが終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

「進捗状態」に「正常に終了しました。」と表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

これでオリジナル音楽CDが完成しました。